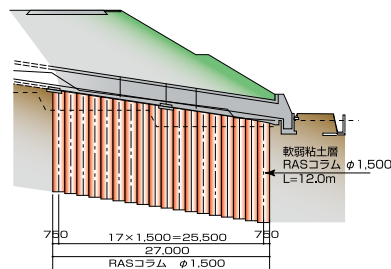


## 施工実績

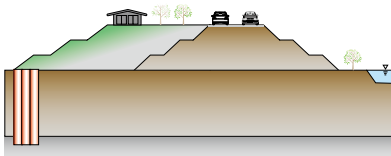
### 高盛土すべり防止工事

- 工事名 八木第一改良その6工事(パイロット事業)
- 発注者 国土交通省近畿地方整備局  
京都国道工事事務所
- 施工数量 改良径  $\phi 1,500\text{mm}$   
改良深度 9.0~13.0m  
改良本数 469本
- 施工期間 平成7年6月~平成7年8月



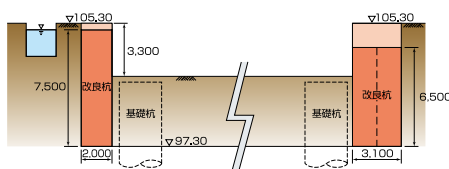
### スーパー堤防築造工事

- 工事名 藤畑高規格堤防工事
- 発注者 国土交通省関東地方整備局  
利根川上流工事事務所
- 施工数量 改良径  $\phi 1,670\text{mm}$   
改良深度 18.0~19.0m  
改良本数 423本
- 施工期間 平成11年9月~平成11年11月



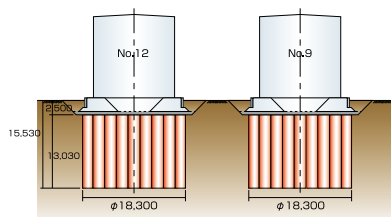
### 自立山留壁の築造工事

- 工事名 浦和大門駅舎築造工事に伴う地盤改良工事
- 発注者 埼玉高速鉄道株式会社
- 施工数量 改良径  $\phi 2,000\text{mm}$   
改良深度 8.0m  
改良本数 259本
- 施工期間 平成9年11月~平成10年1月



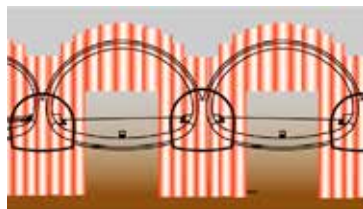
### タンク基礎改良工事

- 工事名 豊田通商名古屋油槽所白油タンク2基増設
- 発注者 豊田通商株式会社
- 施工数量 改良径  $\phi 2,100\text{mm}$ 、 $\phi 1,800\text{mm}$   
改良深度 13.0m  
改良本数 138本
- 施工期間 平成11年1月~平成11年3月



### トンネル上部改良工事

- 工事名 第二京阪道路小路トンネル工事
- 発注者 西日本高速道路株式会社 関西支社
- 施工数量 改良径  $\phi 1,600\text{mm}$ 、 $\phi 2,000\text{mm}$   
改良深度 20.0m~27.0m  
改良本数 5,340本
- 施工期間 平成17年4月~平成18年10月



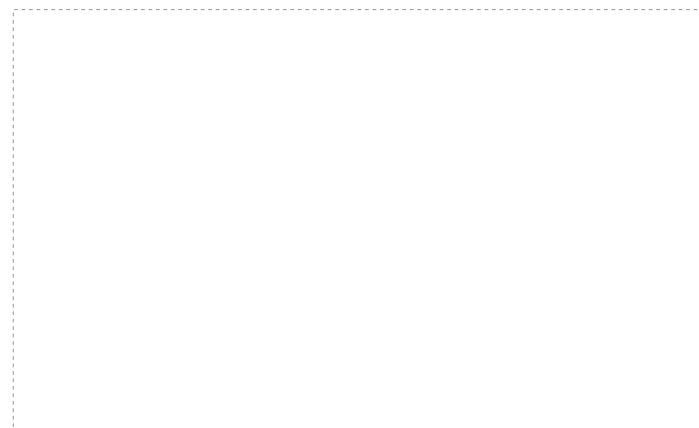
施工技術本部

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35  
TEL.03-3265-2456 FAX.03-3288-0896

URL [www.raito.co.jp](http://www.raito.co.jp)

e-mail [gijyutsu@raito.co.jp](mailto:gijyutsu@raito.co.jp)

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付け下さい。



発行 2019年2月  
720228\_1000\_TB

# RASコラム工法

大口径機械攪拌深層混合処理工法  
【高品質低変位型】

NETIS登録番号 (旧KT-980496-VE)※

NNTD登録番号 No.0339

建設技術評価証明 第1002号 (公社)日本材料学会



「平成29年度準推奨技術(新技術活用システム検討会議(国土交通省))」  
「活用促進技術(新技術活用評価会議(九州地方整備局))」

# RASコラム工法

## 大口径機械攪拌深層混合処理工法 【高品質低変位型】



公益社団法人 日本材料学会  
技術評価証 第1002号

国土交通省 NETIS登録番号  
NETIS (旧KT-980496-VE)※

## 深層混合処理による、高品質で均質性に優れた改良体が実現。

RASコラム工法は深層混合処理工法の機械攪拌工法に分類され、原地盤とセメントミルクを攪拌翼で強制攪拌することにより地盤改良を行います。

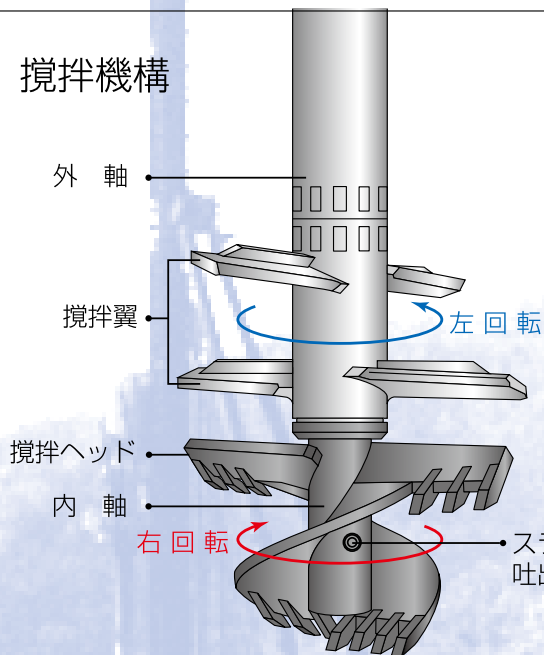
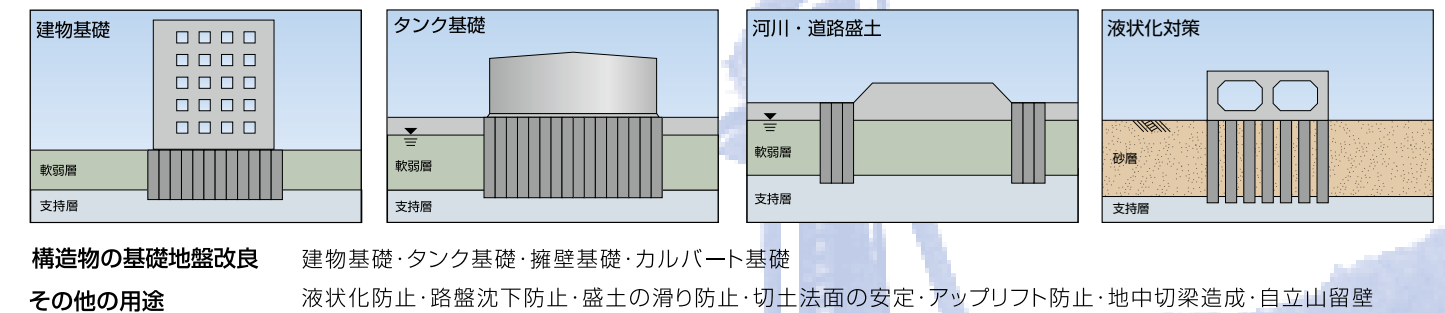
削孔攪拌機構は、内軸と外軸が互いに正逆に回転する二重管構造であり、内軸は硬質地盤を高トルクで削孔できる削孔専用翼、外軸は攪拌専用翼です。この機構を利用した正逆回転効果により、高品質で均質性に優れた改良体が確保できます。また高トルクのオーガを使用しているため改良径は最大2,500mmの施工が可能であり、改良本数を低減でき経済性に優れています。さらに、地中における混合攪拌の状況をリアルタイムに表示する専用の施工管理装置を使用しているため確実な施工が可能です。



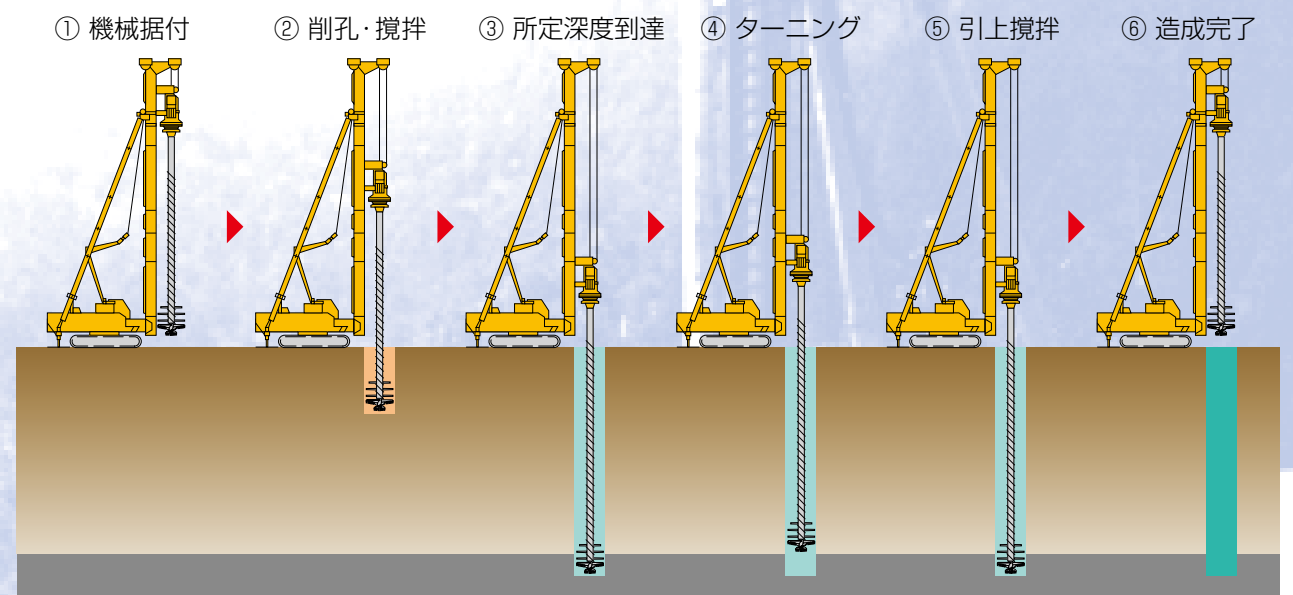
## 特 長

- 高出力のオーガにより改良径2,500mmまでの改良が可能です。
- 高能力の削孔が可能な攪拌ヘッド（内軸）と攪拌専用の外軸を独立させることにより、硬質地盤への貫入が可能です。
- 正逆回転により従来問題とされた粘性土の共回り現象が解消されます。
- ロッドの剛性が大きいと共に、二重管構造で相互に正逆回転するため削孔垂直精度が向上します。
- 正逆回転機構による攪拌効率の向上により、高強度で均質性に優れた改良が可能です。
- 施工管理システムによりリアルタイムで施工状態の管理が可能です。
- 攪拌効率が高く、排泥がスムーズに上部へ排出され、周辺構造物への影響を少なくすることができます。

## 用 途

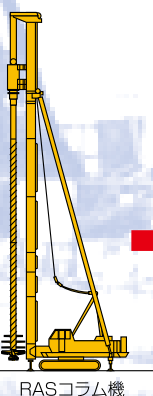
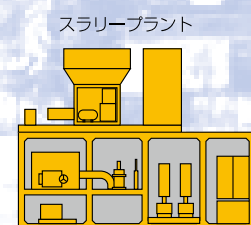


## 施工手順

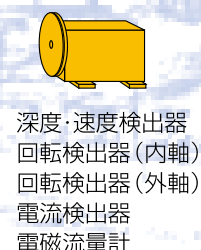


## 施工管理システム

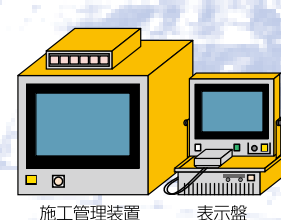
### 施 工



### データ検出



### データ処理



- ① 施工位置に機械を据付ける。
- ② スラリーを吐出しながら、所定の深度まで削孔攪拌する。
- ③ 所定の深度まで改良体を造成する。
- ④ 改良下端部を、底部攪拌する。
- ⑤ 攪拌終了後、ロッドを引き上げ、改良体の造成を完了する。

※NETISの「旧」表記はNETIS掲載期間終了技術です。